

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

## ◆ 事業活動の成果を計算しよう

**Q** : 当社は、借入金が多く利息もかなりの額になります。そこで、営業活動だけでなく利息なども含めての会社の成果を計算したいのですが、計算方法を教えてください。

**A** : 経常利益と売上高を比較してみてください。

### 【解説】

営業活動でいくら稼いでも、支払利息や手形割引料が多ければ手元に残る利益は消えてなくなります。金融負担や為替差損、雑損益など営業外収支を考慮した経常利益と売上高を比較して売上高経常利益率を計算すると、1年間の事業活動の成果がわかります。

#### (1) 経常利益を出す

経常利益 = 営業利益 + 営業外損益

#### (2) 売上高経常利益率を出す

売上高経常利益率 =  $\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}} \times 100$

ご質問のように借入依存型の会社や、貿易比率が高い会社は、支払利息割引料や為替差損で経営が圧迫されることが多いため、営業外損益に注目しなければなりません。

営業外支出が営業利益を食ってしまう欠損企業は、経営の体質強化と戦略の立て直しが必要です。重装備型で固定費が過大な場合は、設備稼働率と生産性向上にメスを、余剰人員を抱えている場合には、営業など直接部門の拡大や多角化を進めましょう。

この利益率の平成10年度の平均は、建設業3.4% 製造業4.5% 卸売業1.9% 小売業3.0%となっています。

